

多点温度検層器 簡易取扱説明書

1 構成

多点温度検層器は下記3つで構成されています。

- ① ロガーボックス
- ② 多点温度センサー
- ③ 充電プラグ



2 接続

多点温度センサーと充電プラグを接続します。

ロガーボックス右側面にコネクタがついているので、多点温度センサーおよび充電プラグ側のコネクタを差し込み、外側のネジを回してコネクタが外れないことを確認します。



コネクタ



ボックス側コネクタの凹凸とセンサー及び充電プラグ側の凹凸を嵌合する



この外側のネジを時計周りに回すと締まる

3 計測の開始・充電操作について

計測はロガー電源を ON にすると開始されます。充電は充電プラグを AC100V のコンセントに接続した状態で、ブレーカーを ON にすると開始します。

計測を行っていない期間は、ロガー電源を ON 状態にしているとバッテリーを消費し、不要な計測データが蓄積します。保管時はロガー電源を OFF 状態にしておくことを推奨します。

ロガー電源とブレーカーの ON/OFF 状態を下記に示します。

- ① バッテリーのみで計測を行うとき (ロガー電源 ON ブレーカーOFF)



- ② 充電しながら計測を行うとき (ロガー電源 ON ブレーカーON)



- ③ 計測を止めて充電を行うとき (ロガー電源 OFF ブレーカーON)



④ 計測を止めて保管するとき (ログ電源 OFF ブレーカーOFF)



4 SD カードでのデータ回収について

データ回収は、SD カードをデータロガーに挿入して行います。ただし、**ロガーの定時計測時は、データを回収しないでください。**SD カードを挿入したデータロガーの「回収」ボタンを5秒間長押しするとSDカードに本体のデータが書き込まれます。

詳細なデータの見方や設定の書込などは、「多点温度検層ロガー GTL-100H 説明書」をご覧ください。

